

私稱郡名

津久井縣

テ耕植スレバ旱損ヲ免レズ、土性ハ眞土野土ノ兩種ニシテ、何レモ砂交リ、沃腴ノ土ニアラザレドモ、農業ノ外、蠶桑及漁獵ヲ專トシテ、生産ノ資トスルニヨリ、民戶頗ル富饒ナリ、閩郡ノ村數正保ノ改ニ五十九元祿改ニ七十六前ニ比スレバ増加スル事十七、今又四ヲ増シ、都ガ八十村トナレリ、本郡ノ石高、正保ノ改ニ二万四千四百四十二石餘、元祿ニ至テ二万六千六百二十七石餘トナリ、前ヨリ増加スル事千四百八十五石餘、後又千六百六石餘ヲ増加シテ、今ハ二万四千二百三十三石餘ニ至ル、其餘持添新田ト號スルモノハ後世墾闢ノ地ニ、五十五石餘、寺社領ハ百四十四石ナリ、

〔保曆間記〕同四年治承十月十五日、賴朝相模國小坂郡鎌倉ニ始テ館ヲ構ヘタリ、

〔新編相模國風土記稿六十九〕

小坂可遠佐管スル村二十八雪下、西御門、二階堂、淨妙寺、十二所、大町、沼、上倉田、下倉田、月塚、宿、矢部、町、常葉、片瀨、長是鎌倉七郷ノ一方、按ズルニ、谷七郷ノ稱ハ、鎌倉

郷ノ條ニ、鎌倉ヘ亂入、谷七郷ノ神社佛閣ヲ追捕シテ、悉燒拂ハ見テ、鶴岡社務次第ニ、小坂郷、小尾郷、葉山郷、津村郷、岡郷、長尾郷、矢部郷ト列書ス、其ウチ葉山郷ハ、今三浦郡ニアリ、郡界變遷シテシナラシム、保曆間記ニ、小坂郡トシテ、永正六年ノ文書隱菴藏ニモ、小坂郡、長尾郷ト見ユレド、コハ全ク當時ノ偶記ニテ、郡名ニ唱ヘシ證トハ云ヒ難シ、

〔郡名考〕相模

津久井縣ツクイカノ一郡郡ノ字ナシニ郡名ニ用ル也、里人ハツカケントイフトモイヘリ、

〔新編相模國風土記稿百十六〕圖說

本縣往古ハ愛甲高座兩郡ノ内ニ孕マレテ、林巒山嶽多ク、漸クニ原野ヲ開トスヘドモ、皆山間ニシテ曠遊ノ地ナシ、就中西北ノ村落邊裔ノ地ニ至テハ、嵯峨ニヨリテ墾闢シ、往々火耕ノ地モ見エタリ、其間ノ沿革アルモ、滕國以前ノ圖傳ハラザレバ、其詳ナル事知ルベカラズ、中

津久井縣國ノ西北隅ニアリ、略元祿四年、山川金右衛門ガ配隸セシ時、閩境ニ命テ下シテ、自今

已往縣ト唱ヘシムト云、是ヨリシテ、郡名ヲ冠ラシムル事ヲ省ク、元祿國圖、津久井縣ト記ス、爰ニ於テ、一縣ノ名唱定テ、一郡ノ如ク今猶然リ、中閩縣ノ形狀恰モ科斗ノ形ニ似タツ、西方ハ廣袤崔嵬、南ヨリ